



ドリーム・ベースボール

熱血指導受け交流
往年の名選手が真庭に

10月4日、真庭やまびこスタジアムで、元プロ野球の名選手たちが集うイベント「ドリーム・ベースボール」が開かれました。会場には金田正一さんや張本勲さんら、かつて球界で大活躍した24人が訪れ、小中学生約400人に技術指導をしました。子どもたちは真剣な表情でアドバイスを聞き、学んだことを実践していました。また、市内の社会人選抜チームとの親善試合も行われ、会場は最後まで熱気にあふれていました。



マサカリ投法で有名な、村田兆治さんが投球フォームを指導



「喝!!」でお馴染みの張本勲さんにバッティングの指導を受ける中学生



市政に関する動きの一部を紹介します

9/28 稲刈りに挑戦し収穫の喜びを味わう

水田小学校の5年生児童が稲刈りに挑戦しました。地域のボランティアの協力で田植えから学んでおり、鎌の使い方を教わった児童たちは黄金色の稲を刈り取り、自分たちが育てた米を収穫する喜びを感じていました。



9/19 地方初開催、全国から約80人が参加

地方創生塾・土日集中セミナー（地方版）が旧遷喬尋常小学校を主会場に開かれました。地域活性化センターが主催するセミナーで、地方では初開催。里山資本主義の著者藻谷浩介さんの講演などが行われました。



市民や行政が一体となって推進



写真上：ふるさとを合唱する参加者
写真右：真庭市の人口ビジョンについて説明する市の担当者
写真左：決意表明する宮本さんと池本さん家族



市長室から
こんにちは!

大字神代自治機関条例

勝山神代地区の住民会に寄せていただく度に住民の方の自立意識と見識の高さに感心しますが、昭和9年3月策定の「大字神代自治機関条例」があることを教えてもらい、さもありなんと思いました。条例第1条に、「神代自治の円滑な発達と、地区住民の福祉向上を図る」ことが高らかにうたわれているではありませんか。昭和9年と言えば、5年に始まった大恐慌により農山村は疲弊し、国際連盟から脱退した日本は世界から孤立を深め、全体主義が高まり掛けていた時代です。この時期に「民主主義の学校」と言われる地方自治と福祉向上を掲げた条例を作るとは大したもの。現行地方自治法は憲法と同時に施行された憲法の申し子です。神代の先人の意思をしっかり受け継ぎ、真庭の地方自治を発展・充実させなければと、憲法公布69年目に当たる11月3日を前に誓うものです。

10月6日、旧遷喬尋常小学校で、まち・ひと・しごと創生推進大会が開催され、市民ら約150人が参加しました。真庭市では、2040年に3万2千人まで減少すると推計される人口を、3万4千人にすることを目標にしており、人口減少対策の5カ年計画「真庭市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定。この日は、市が総合戦略の概要などを説明した後、市民会議を代表して、真庭高校3年宮本直樹さんと自営業池本浩二さんが計画の達成に向けて決意表明をしました。市議会の竹原議長が「市を持続可能な『まち』とするため市民・市議会・行政が一体となって総合戦略を推進していく」と宣言し、最後は参加者全員で「ふるさと」を唄い、気持ちを一つにしました。

9/30 新たな子育て・教育環境整備に向けて

北房文化センターで、新教育環境整備準備委員会の第1回会議が開かれました。旧至道高校跡地に整備する新小学校とこども園について住民意見をとりまとめ、校名・園名や校章、校歌などについても検討していきます。

